

流通合理化事業活動の概要



事業者：横浜市場デジタル化推進協議会

計画概要

横浜市場における営業・物流業務の属人化やアナログ作業による非効率を解消するため、分荷サポートアプリや物流関連システムを導入し、情報の一元管理と業務プロセスの可視化・標準化を図ることで、持続可能な市場運営体制の構築と流通全体の合理化を目指す。

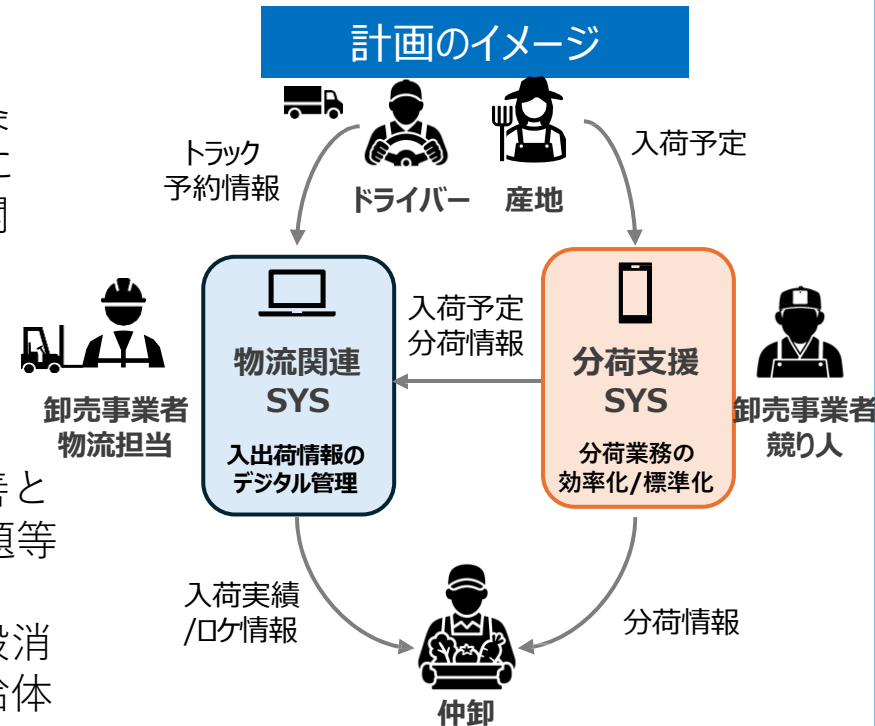
目 標

分荷・入出荷業務において、注文・在庫・分荷条件等の情報をデジタル化することで、**2030年までに**競り人の残業時間及び、帳票関連業務工数、荷役関連工数、紙媒体費用をそれぞれ3割削減する。

食料システムへの寄与

本計画により、卸売市場における労働環境の改善と物流機能の高度化を同時に実現し、物流2024年問題等の外部環境変化への対応力を強化する。

市場機能の持続性と効率性を高めることで、一般消費者への生鮮青果物の安定的かつ円滑な流通・供給体制の確立に寄与する。



(2026年6月10日認定)